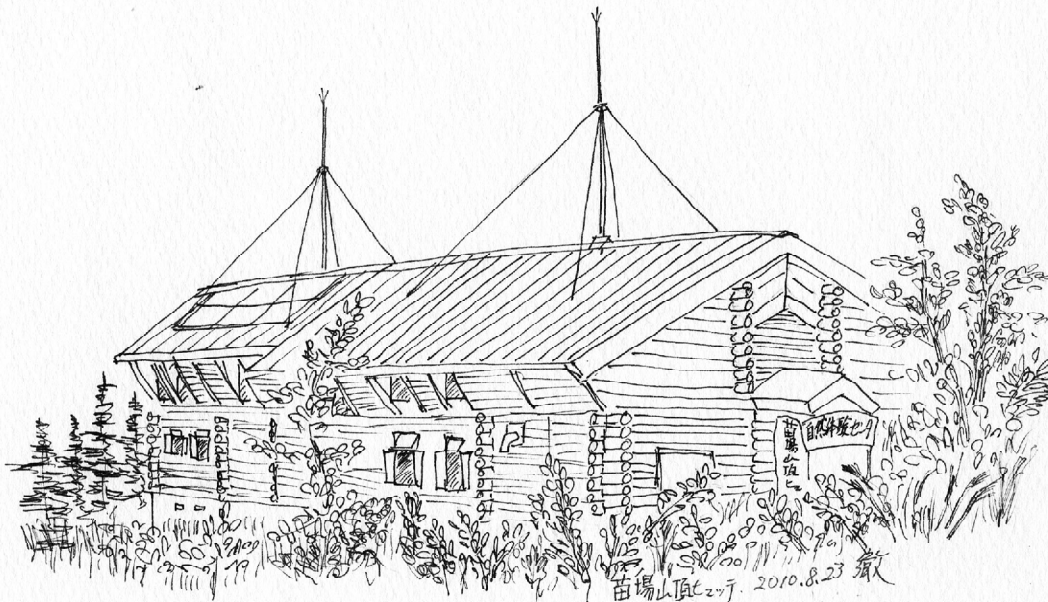


円高対策に商取引を伴わない為替取引に課税を

2007年には1ドル120円弱であったのが、8月25日には83円と円高が極端に進んでいる。輸出業者は下請けを海外に移す動きが急となり、国内の中小業者は苦境に立たされている。ドルやユーロに対する不安からファンドなどの投機筋が円を買い、それで、円高になっているという。輸出関連産業の業者や労働者は、原材料を買って、汗水垂らしてそれを加工して、製品を作り、僅かな利益を得ていたが、この円高では利益は出ない。一方、大金を持っている者が投機目的で円を買い、それで大金を儲けるという

のはどうか。日銀は円高対策で低金利を打ち出している。しかし、大企業は低金利で融資を受けて、海外に子会社などを作るのに使うのではないか。それでは、中小企業は救われない。一番やらなくてはいけないのは、投機目的の為替取引の規制だ。それには、商取引(商品やサービスの売買など)を伴わない円ドルの売買を規制することだ。商取引の伴わない為替の売買には、例えば、その売買金額の千分の一などを直接に税として徴収したり、単なる為替売買の利益には高い税をかけることが必要ではないか。

皆さんはどう思われます？



苗場山頂ヒュッテ

二〇一〇年八月二三日登頂

海拔一三七〇mから一気に急な登り道だ。一〇三〇mまで登ってほっとしたら、が一〇二四五mの苗場山に行くには一五〇m位下り、三〇〇m登らなければならぬ。そのきつかったこと。が、山頂の広い湿原についたら、その苦勞も吹き飛んだ。翌朝、湿原を散歩。花の盛りは過ぎてはいるがリンドウ等が美しい。山頂湿原の木道を歩いていたら、私と妻の間をオコジョが駆け抜けた。石組の間に隠れては顔を出し、木道に並行に走ってでんぐり返しをしたり、まるで、僕、でんぐり返しが出来るんだよ。見て！見て！と云っているよう。最後には、私の足下に来て、靴の匂いをかいだり。とても、心の和む一瞬でした。でも、警戒心の強い筈の野生動物がどうして？誰かがえさをあげた為、それを欲しくて、人間の前に現れたのだとしたら、不幸なことです。自然の生態系を守る為、餌づけは慎むべきと思いました。その様子はデジカメの動画として「ユーチューブ」に投稿しました。そのリンクは下のホームページにあります。又、次のURLでも見ることが出来ます。

<http://www.youtube.com/watch?v=VLK9T8ySqyQ>